



企画・制作 山梨日日新聞社広告局

# 容姿端麗「俺様」リーダー

第5回

恋愛戦国ロマネスク／フリーユ

「こいるま」は昨年9月、スマートフォン向けに配信スタート。恋の相手となる武将を選択し、個別に用意されたシナリオを読み進めて遊ぶノベル型のゲームで、物語や武将との会話の中で選択肢が現れる。プレイヤーの選択によって未来が分岐したり、武将のプレイヤーに対する好感度が上下したりする。

度まで伸ばした艶のある黒髪、切れ長の目など容姿端麗で、公式プロフィールによると性格は「俺様×クール」となっている。

現在、信玄との恋愛が楽しめる本編ストーリーは配信準備中のため登場シーンは限定的ながら、武田軍の絶対的リーダーとしてカリスマ性と存在感を發揮。3月6日13日に配信された期間限定イベント「信玄といふ男」武田軍密着録」では、信玄の配下として登場する徳川家康の視点で、人物像の一端が明かされた。

主人公は戦国時代にタイムスリップしてしまった現代人女性で、舞台は亡くなっていくはずの信玄が存命で大きな影響力を發揮している事実とは少し異なる世界だ。織田信長と出会い保護された主人公は、現代に戻る方法を探すため、彼の影武者「女信長」として生きる道を選択。数々の武将と出会い、恋愛に発展していく。

作中における信玄の立ち位置はいわゆる「ラスボス」的存在で、物語の力を握る重要人物。少し目にかかる程

家康の口から語られた信玄のイメージは「想像を超えていることを可能にしよう」「真つすぐな視線は心の奥までぞかれているような気持ちになる」など。イベントでは、家康が信玄との距離を縮

め、当初抱いていた印象とは異なる一面を見つけていく様子も描かれた。

信玄の本編ストーリーは5月中の配信を予定し、プレイヤーと信玄の恋愛要素も解禁される。制作チームリーダーの内山友佳さんは「本作において信玄はとても重要なポジションの武将で、主人公が無事に現代へ帰れるのかななどにも影響してくる予定です。信玄には、今はまだ



© FURYU All rights reserved. 織田信長。プレイヤーは彼の影武者「女信長」として活動する。



© FURYU All rights reserved. 武田信玄。現時点では、登場シーンは限られるが、存在感を發揮。

フリーユ（東京）が手掛ける恋愛シミュレーションゲーム「恋愛戦国ロマネスク（こいるま）」は、武田信玄をはじめとした戦国武将がイケメン化して登場し、プレイヤーは武将たちと恋の駆け引きを楽しむことができる。切れ長の目に細身の体、「俺様」気質な性格など、大衆イメージとはかけ離れて見える「こいるま」の信玄像が、どのようにして出来上がったのか。制作チームの2人に聞いた。ゲーム内の信玄の活躍や特徴と合わせて紹介する。

## ゲーム制作者に聞く

チームリーダー 内山さん／シナリオ担当 山岸さん

## 新解釈で魅力引き出す

—「こいるま」のコンセプトは。

内山友佳さん 史実をある程度理解しつつ、固定観念に捉われずに新解釈を加え、武将たちの新たな魅力を伝えたい、という点にこだわっています。例えば、織田信長＝俺様という一般的な信長像ではなく、本作では「うつけ」部分に着目し、「个性的で突飛な発想をする天才」というキャラクター設定をし、マイペースで親しみのある信長像を提案しています。

—信玄のデザインについて教えてください。

内山さん カリスマ性のある絶対的王者というキャラクターを表現するため、イメージカラーには、黒という非常に強い色を選択しました。衣装は黒をベースに、差し色として、赤備えなどのイメージから赤を入れています。また、覇王感を出すためのマントのような羽織、有名な肖像画から着想した柄の襦袢なども特徴です。外見イメージとして「絶対的リーダー」「王様の風格」「ダークヒーロー感」「クール・孤高感」、内面イメージとして「慎重派・やや神経質」「孤独感」といった雰囲気や特徴が伝わるよう、デザインをしました。

### プロフィール

うちやま・ゆうかさん。プロデューサー。フリーユ恋愛ゲームシリーズ「恋愛ホテル」「恋愛幕末カレシ」のプロデューサーを担当後、「恋愛戦国ロマネスク」に立ち上げより参加。制作チームのリーダー。

やまぎし・ゆかさん。シナリオディレクター。フリーユ恋愛ゲームシリーズ「恋愛幕末カレシ」や「恋愛プリンセス」などのゲームシナリオを担当し「恋愛戦国ロマネスク」の立ち上げに参加。シナリオ制作のほか、世界観やキャラクター設定などにも携わる。

—信玄の設定はどのようにできていったのでしょうか。

内山さん まず、信長が最も恐れていた武将が信玄と言われていることから、信長に立ちはだかる最大の壁として、信玄を描きたいと考えました。信玄は圧倒的なカリスマ性を持って甲斐やその周囲を取り仕切っていたという印象があり、その有能さや敏腕さを「俺様」という形で表現しています。信玄の、「為せば成る 為さねば成らぬ成る業を成らぬと捨つる人のはかなき」という言葉に、私自身、学生時代深く感銘を受けたのですが、こちらは、ストイックさやカリスマ性として、キャラクターに投影しています。

山岸由佳さん 「人は城…」という言葉や無



チームリーダーの内山友佳さん

血での家督相続、甲斐の国衆を集めて全員の話聞いたというエピソードなどから、コミュニケーション能力の高さや統率力を強く感じましたので、ゲーム内では、武田軍の絶対的リーダーとして表現しています。繊細で慎重な性格だったという説もあり、そのあたりを少し影のある王者という雰囲気演出しつつ、設定にも生かしています。

—信玄に対するイメージを教えてください。

山岸さん ゲーム制作前は豪腕で豪快、といったイメージがありましたが、甲陽軍鑑を読んだり、武田氏研究家の方に話を聞いたことで調べていくうちに、まめなところなど、違う印象を持つようになりました。大きく勝



© FURYU All rights reserved.

## ゲーム紹介



© FURYU All rights reserved.



© FURYU All rights reserved.

「こいるま」(正式名称「恋愛戦国ロマネスク～影武者姫は運命をあやなす～」=写真)は、累計500万人以上がプレイしたフリーユの恋愛ゲームシリーズ「フリーユ恋」の最新作。昨年9月30日にリリースされた。「戦国武将とともに恋と時代を切り拓く新解釈歴史ドラマ」がコンセプトで、武田信玄のほか、織田信長、徳川家康ら総勢14人の戦国武将との恋愛が楽しめる。舞台は「ちょっと変わった戦国時代」で、信玄と上杉謙信が同じ陣営に所属しているなど、武将の間関係が史実とは異なっているのも特徴。プレイヤーはタイムスリップしてしまった現代人女性。恋の相手となる武将を選び、個別に用意された物語を読み進めていく形でゲームをプレイする。ゲーム世界におけるプレイヤーの分身「アバター」の着せ替えといった要素もある。

次回は4月7日に掲載します。

つことをよしとしない考え方などから、勝利だけでなく人々を大切にしていたことが伝わり、作中イメージが固まってきました。

—史実を基にしたゲーム作りの魅力や苦労は。

山岸さん 制作を通じ、戦国武将は各地域のご当地ヒーローのような側面があると考えられるようになりました。特に信玄については、これだけ地元で愛される武将はまれなのではないかと思っています。地域の方が大切にしている武将をおとしめず、いかに魅力的なキャラクターとして輝かせるかということに、常に心を砕いています。